
青少年のネット利用実態把握を目的とした調査

平成28年度最終報告書

青少年のネット利用実態把握を目的とした調査

1. 調査の概要と進捗

LINE株式会社では、青少年のネットワーク（以下ネット）利用の啓発活動の更なる強化およびネット利用の問題防止に向けた研究のために、青少年のネット利用実態の把握を目的とした大規模調査を実施しています。平成28年度は、神奈川県教育委員会および東京都教育委員会のご協力をいただき、2度のアンケート調査を実施しました。このアンケートの結果およびその分析をとりまとめ、平成28年度の活動報告として、本報告書を公表致します。青少年のネット利用実態の把握を目的とした調査は、平成29年度も引き続き両自治体のご協力を戴きながら進めているところで、本事業の進捗状況は以下の通りです。

- (1) 平成29年3月23日に青少年のネット利用実態把握を目的とした調査の中間報告として神奈川県内の全県立高等学校（1分校含む）、全中等教育学校、および特別支援学校の一部の生徒64,031名、東京都の公立高等学校、中学校、小学校の児童・生徒6,509名に対するアンケート調査結果を公表しました。

青少年のネット利用実態把握を目的とした調査 中間報告

<https://linecorp.com/ja/csr/news/ja/2017/85>

- (2) このアンケート調査の追跡・検証を目的として、平成28年12月から平成29年1月にかけて、東京都教育委員会のご協力により、東京都の公立高等学校、中学校、小学校の児童・生徒6,674名を対象に第2回アンケート調査を実施し、3月23日にその結果を速報版として公表しました。

青少年のネット利用実態把握を目的とした調査 第2回アンケート結果 速報版

<https://linecorp.com/ja/csr/news/ja/2017/86>

- (3) 本調査は、LINE株式会社と神奈川県教育委員会および東京都教育委員会との共同研究プロジェクトの一環です。東京都教育委員会は、「SNS東京ルール」を定め、児童・生徒によるSNSの適切な利用促進を推進しています。東京都教育委員会が開発したノート教材「SNS東京ノート」には、本アンケート調査の結果を一部利用しています。

「SNS東京ルール」の成果と今後の取組について：補助教材「SNS東京ノート」の改訂等

<http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/press/2017/pr170323d.html>

2.本報告の内容

(1) 神奈川県における調査

- ①利用状況に関する概観と基本的な数値

(2) 東京都における1回目の調査

- ①利用状況に関する概観と基本的な数値
- ②生徒を取りまく環境とネット利用上の問題に関する相関分析
- ③東京都の中学校、小学校の調査について

(3) 東京都における2回目の調査

- ①パネル調査の有効性について
- ②スマホの利用時間と成績への意識
- ③教育効果について

平成28年度最終報告書の要旨および今後の調査について 概要

(1) 本報告書は以下の2回のアンケート調査の結果を平成28年度最終報告書としてとりまとめたものです。

① 平成28年6月から9月にかけて、神奈川県の高校生64,031名、東京都の高校生、中学生および小学生6,509名を対象とした第1回アンケート調査を実施しました。

② 平成28年12月から平成29年1月にかけて、東京都の公立高等学校、中学校、小学校の児童・生徒6,674名を対象に第2回アンケート調査を実施しました。この調査は第1回アンケート調査の結果を追跡・検証したものです。第2回アンケート調査では中学校・高等学校の生徒5,761名に関するパネル調査を集計しました。（パネル調査とは、同じ調査対象に対して、一定の期間をおいて繰り返し行う調査の方法のことです。この分析において、パネルとして有効であった人数は2,725人です。）神奈川県と東京都の調査内容に若干の違いのあることから、平成28年度報告書では、両自治体のデータを統合せず、アンケート毎に分析して報告書を作成しています。本報告書では、調査結果から内容を選択し、1頁に1つのテーマとして取りまとめました。一部コメントにて触れているグラフ箇所は、緑色にてハイライト表示しています。

(2) 神奈川県と東京都の調査結果には、ネットの利用について共通する青少年の生活や行動の様子があらわれています。たとえば神奈川県の高校生のスマホの所有率97.3%に対して、東京都の高校生の所有率は96.3%でした。情報端末の平日1日の利用時間について調べたところ、2時間および3時間と答えた高校生の割合は、神奈川県では39.3%、東京都では41.2%でした。

(3) 本調査では、生徒の普段利用するSNSのサービス（LINE、KakaoTalk、Twitter、Facebook、mixi、Instagram、Google+）について質問しています。このなかでLINEを1日10回以上チェックする生徒の数は、神奈川県ではSNS利用者の69.2%、おなじくTwitterは56.6%であったのに対して、東京都ではそれぞれ69.6%と50.6%となっており、LINEの利用が学校の生徒の日常生活に浸透していることが分かりました。

(4) 本調査のデータ上の留意点は、おもな実施対象校が神奈川県の場合は全県立高等学校（1分校含む）、全中等教育学校、および特別支援学校の一部であったのに対し、東京都の場合は公立高等学校、中学校、小学校の抽出校を対象としていることです。また東京都では「SNS東京ルール」の取り組みを進めているため、ルールとネット利用について質問しています。生徒の安全意識について調べると、主観的な安全意識はスマホの利用ルールに関係していることが分かりました。

(5) 第2回アンケート調査におけるパネル調査の結果は、継続的なネットリテラシー教育が、生徒のネット利用上の問題の経験を減らす傾向があることを示しています。

(6) 今後も同様のアンケート調査を実施する予定です。調査結果はすべて個別に整理して学校側にフィードバックをしています。

(7) 生徒のネット利用に関する先進的な取り組みの一環として、本調査にご尽力戴いた神奈川県教育委員会および東京都教育委員会に御礼申し上げます。

目次

青少年のネット利用実態把握を目的とした調査	1
平成28年度最終報告書の要旨および今後の調査について	3

1.神奈川県の調査について	7
① 利用状況に関する概観と基本的な数値	8
情報端末の所持と割合	8
生徒の利用するSNS	9
情報端末の利用時間	10
生徒の安全意識に関する自覚	11
情報機器の利用時間帯	12
情報機器を利用する場所	13
情報機器の利用を始めた年齢	14
ネットで知り合った友人の数	15
対照質問として一般的な友人数	16
LINEで経験したいやなこと	17
ネットで実際に体験した嫌なことと嫌だと感じることの違い	18

2.東京都の調査（第1回）について	20
① 利用状況に関する概観と基本的な数値	21
情報端末の所持と割合	21
生徒の利用するSNS	22
情報端末の利用時間	23
生徒の安全意識に関する自覚	24
情報機器の利用時間帯	25
情報機器を利用する場所	26
情報機器の利用を始めた年齢	27
ネットがきっかけで知り合った友人の数	28
卒業後も付き合いしていきたい親友数	29
ネットがきっかけで知り合った友人とのかかわり	30
ネット利用での問題	31
ネット利用での問題を経験したサービス	32
生徒が知り合いと経験したネット利用上の問題	33
知り合いとのネット利用上の問題を経験したサービス	34
知り合いとのネット利用時の問題が生じた時の生徒の対応	35
LINEで経験したネット利用時の問題	36

スマホ利用ルールの有無	37
スマホ利用のルール	38
スマホ利用のルールの決め方	39
スマホ利用ルールの遵守	40
スマホ利用のルールを守れなかった理由	41
スマホ利用のルールを学ぶ機会	42
ネットを利用するメリット	43
② 生徒を取りまく環境とネット利用上の問題経験の関係	44
安全意識の高い生徒はネット利用上の問題の経験率が低い	44
生徒の安全意識はスマホ使用ルールの決め方と関係	45
ネットで実際に体験した嫌なことと、ネットで嫌だと感じるであろうことの違い	46
③ 東京都の中学校、小学校の調査について	48
中学校の生徒が経験したネット利用上の問題	49
SNS東京ルール	50
小学校の児童が経験したネット利用上の問題	51
小学校の児童がスマホ利用ルールを学ぶ機会	52
3.東京都の調査（第2回）について	53
① パネルの有効性について	53
パネルの有効性について	53
② スマホの利用時間と学習について	55
スマホの利用時間と成績への意識	55
スマホの利用時間と勉強時間	56
勉強時間と成績への意識	57
教育と安全意識	58
③ 教育効果について	59
ネット利用上の問題の経験率と教育の効果①	59
ネット利用上の問題の経験率と教育の効果②	61
ネット利用上の問題の経験率と教育の効果③	63
ネット利用上の問題の経験率と教育の効果④	65
勉強が好きかどうか	67

勉強時間	68
成績に対する意識	69
娯楽動画の視聴時間	70
学習動画の視聴時間	71
ゲームをする時間	72
LINEをする時間	73
ニュースを見る時間	74

1.神奈川県の調査について

神奈川県調査の概要は次の通りです。

県立学校162校は神奈川県の全県立高等学校（1分校含む）、全中等教育学校、および特別支援学校の一部です。

県立高等学校（1分校含む）	143校	63,086人
県立中等教育学校	2校	232人
県立特別支援学校	17校	713人
合計	162校	64,031人

以下のような確認用の設問をしたところ約95%が指示通り回答しました。

この質問は確認用です。かならず「5」のところに○をつけてください。

	全体人数	割合
1	691	1.1%
2	119	0.2%
3	318	0.5%
4	328	0.5%
5	60,482	94.5%
空欄	2,093	3.3%
合計	64,031	

あなたの現在の学校の課程は、つぎのどれですか。

課程	割合
全日制	96.5%
定時制午前	0.5%
定時制午後	0.5%
定時制夜間	1.9%
通信	0.5%

n=60,201

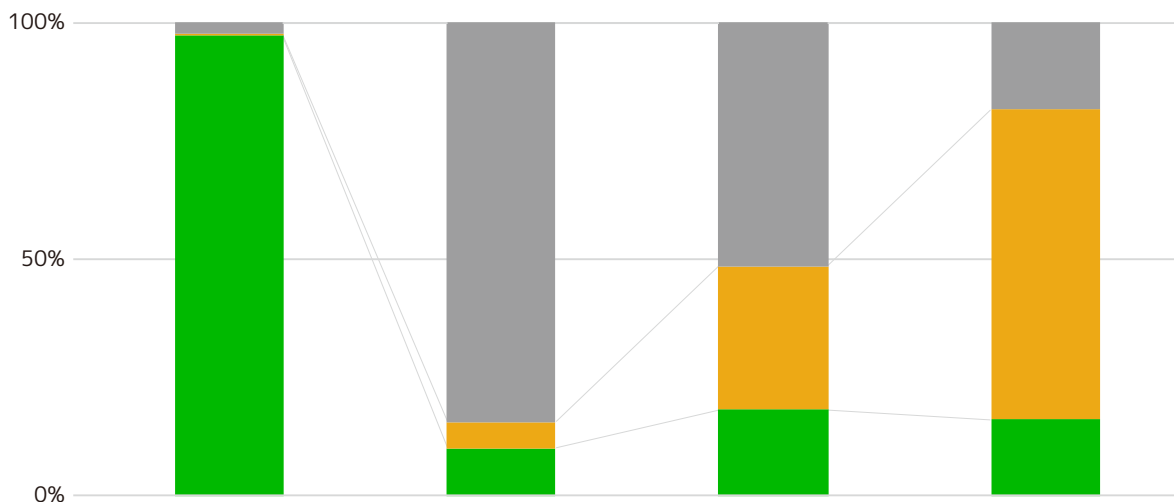
情報端末の所持と割合

高いスマホの保有率

調査の対象となった神奈川県の高校生の97.3%が自分専用のスマホを所有していました。パソコンの所有率は16.1%でした。なお、すべてに「持っていない」を回答した割合は0.36%でした。

設問

あなたは現在、つぎの電子機器を持っていますか。



	スマホ	フィーチャー フォン	タブレット	パソコン
■ 持っていない	2.4%	84.4%	51.5%	18.2%
■ 家族共用	0.3%	5.4%	30.2%	65.7%
■ 自分専用	97.3%	10.2%	18.3%	16.1%

n=54,493

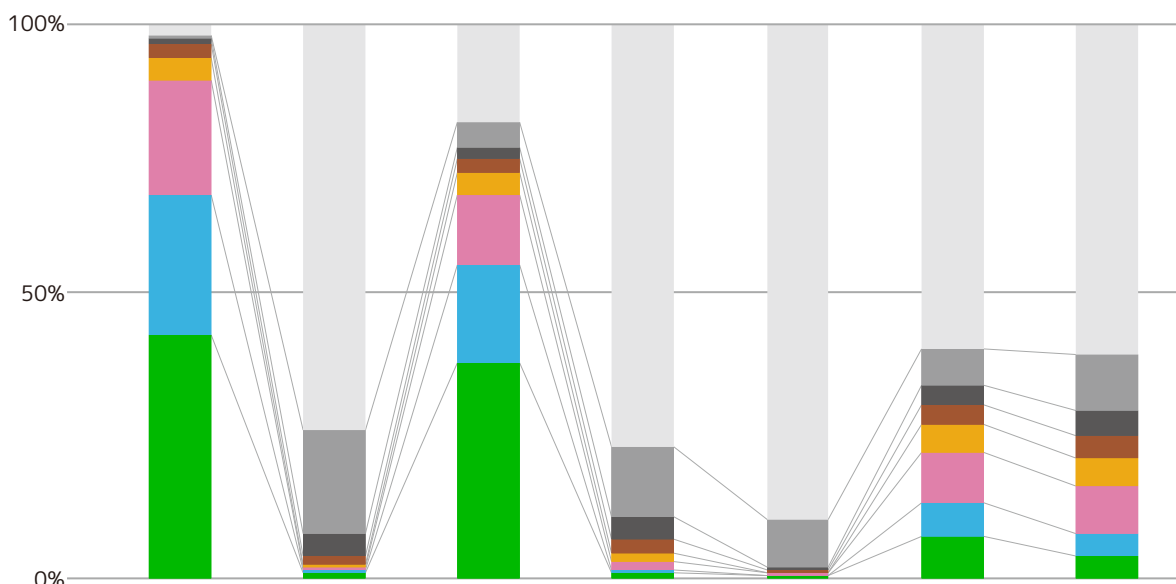
生徒の利用するSNS

LINEとTwitterが双璧

LINEを1日10回以上チェックする生徒の割合はSNS利用者の69.3%、同じくTwitterは56.6%でした。

設問

あなたは、現在、以下のソーシャル・ネットワーク・サービス（SNS）をどのぐらい利用していますか。
（スマートフォン、携帯電話、パソコンすべての利用を含みます。）



	LINE	Kakao	Twitter	Facebook	mixi	Instagram	Google+
利用なし	2.2%	73.2%	17.9%	75.9%	89.3%	58.3%	59.6%
それ以下	0.6%	18.7%	4.2%	12.7%	8.5%	7.0%	10.1%
月に数回	0.7%	4.1%	2.0%	4.2%	0.6%	3.2%	4.3%
週に数回	2.4%	1.2%	2.7%	2.3%	0.3%	3.7%	4.2%
1回くらい	4.0%	0.6%	3.9%	1.8%	0.3%	4.8%	4.9%
10回以下	20.7%	0.8%	12.8%	1.4%	0.3%	9.0%	8.6%
10回以上	25.0%	0.6%	17.7%	0.6%	0.2%	6.5%	4.0%
2回以上	44.2%	1.0%	38.9%	1.1%	0.5%	7.5%	4.2%

n=55,160

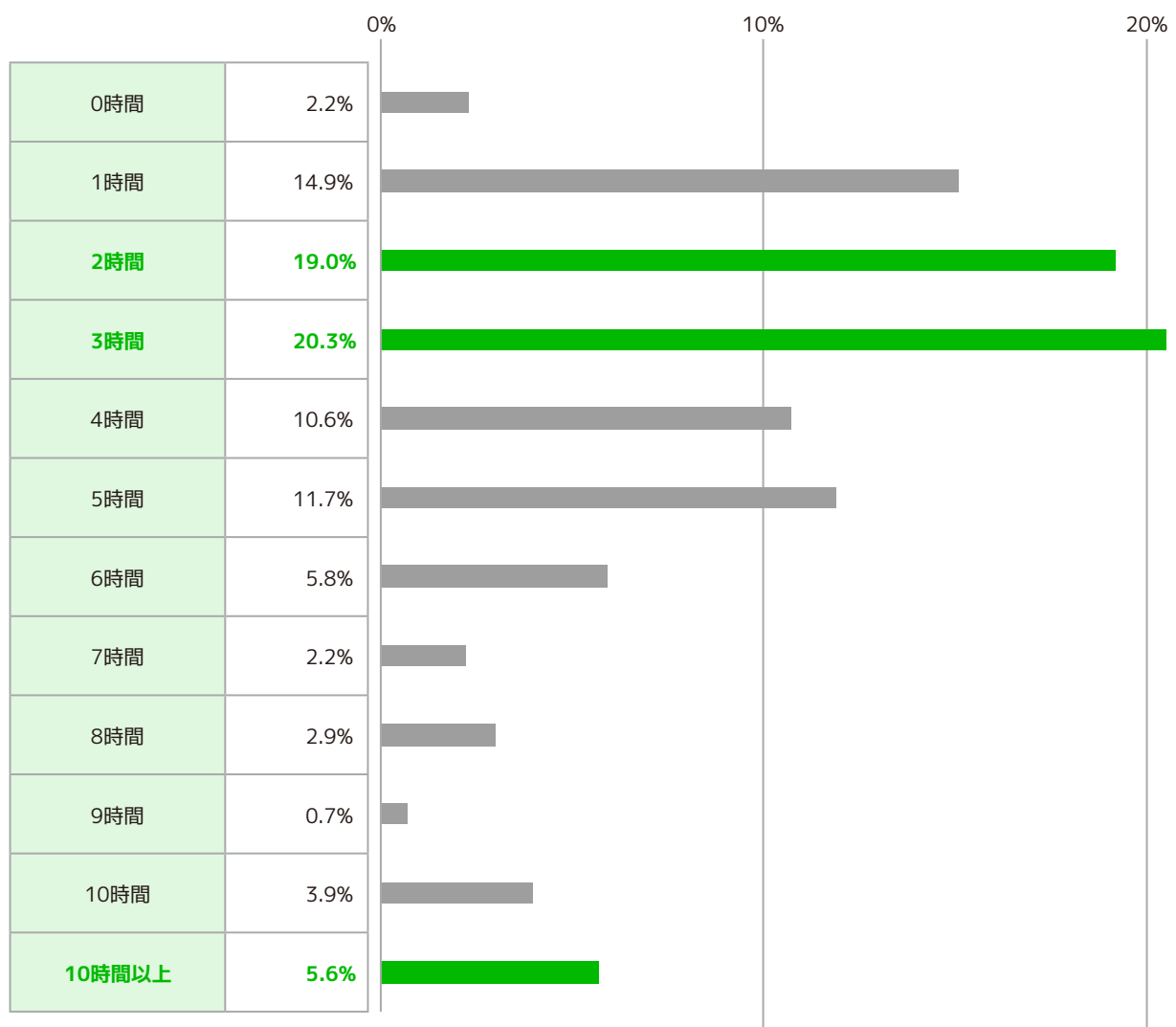
情報端末の利用時間

1日2～3時間が最も多く10時間以上も

1日あたりのネット利用時間を質問したところ、2～3時間という割合がもっとも多くありました。なかには10時間以上という回答もあり、毎日の生活のなかで情報端末を長時間利用する生徒のいることが分かります。

設問

あなたはふだん、スマートフォンや携帯電話、タブレット端末を使って1日にどれくらいネット（インターネット）を利用していますか。（ ）内に数字を記入）



n=55,448

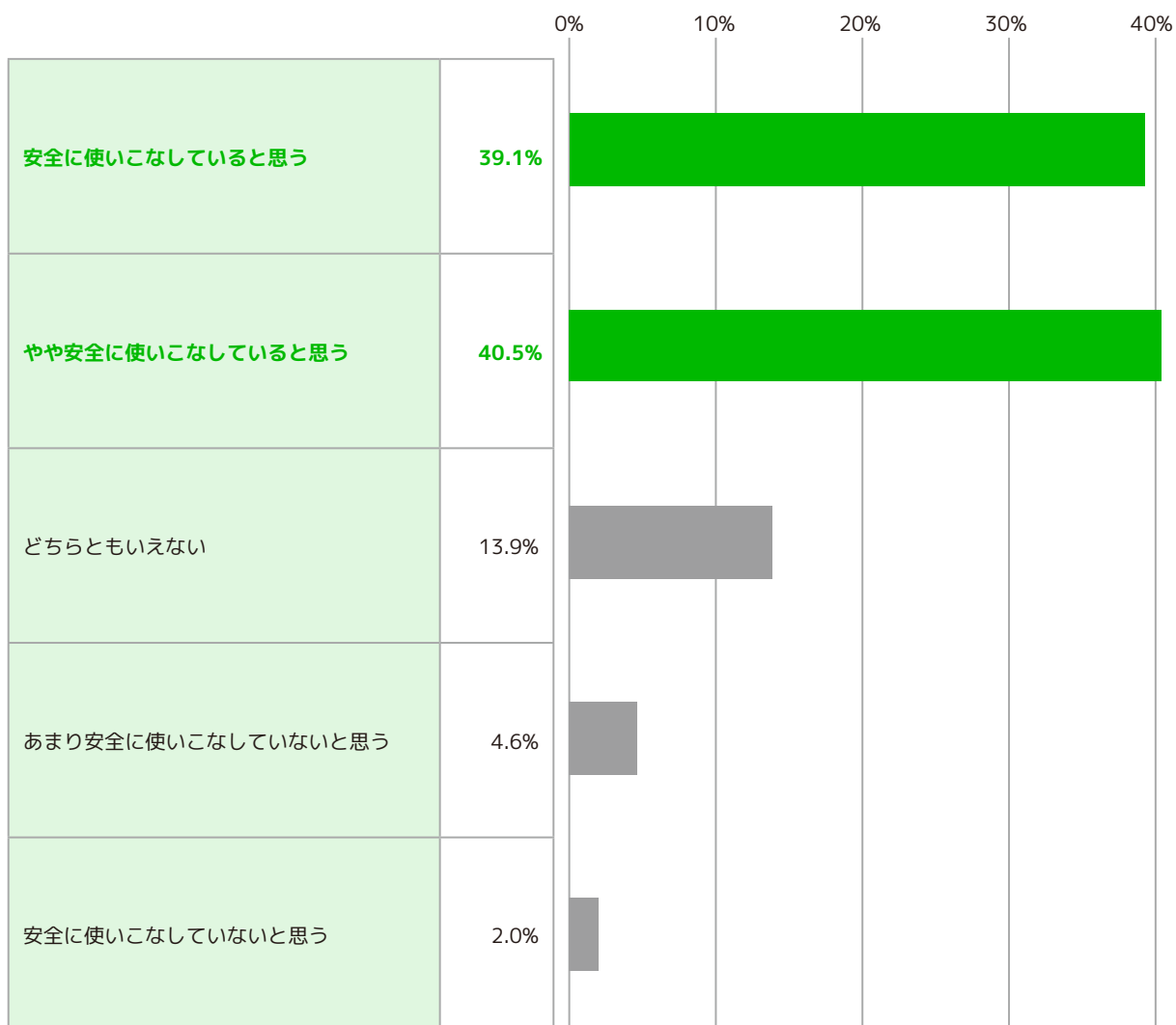
生徒の安全意識に関する自覚

80%が安全な利用と判断

生徒全体の79.6%がネットを安全に使っていると考えています。これに対して2%の生徒に自分の利用の危険性に関する自覚があります。

設問

あなたは、ネット（インターネット）を安全に使いこなしていると思いますか。



n=59,862

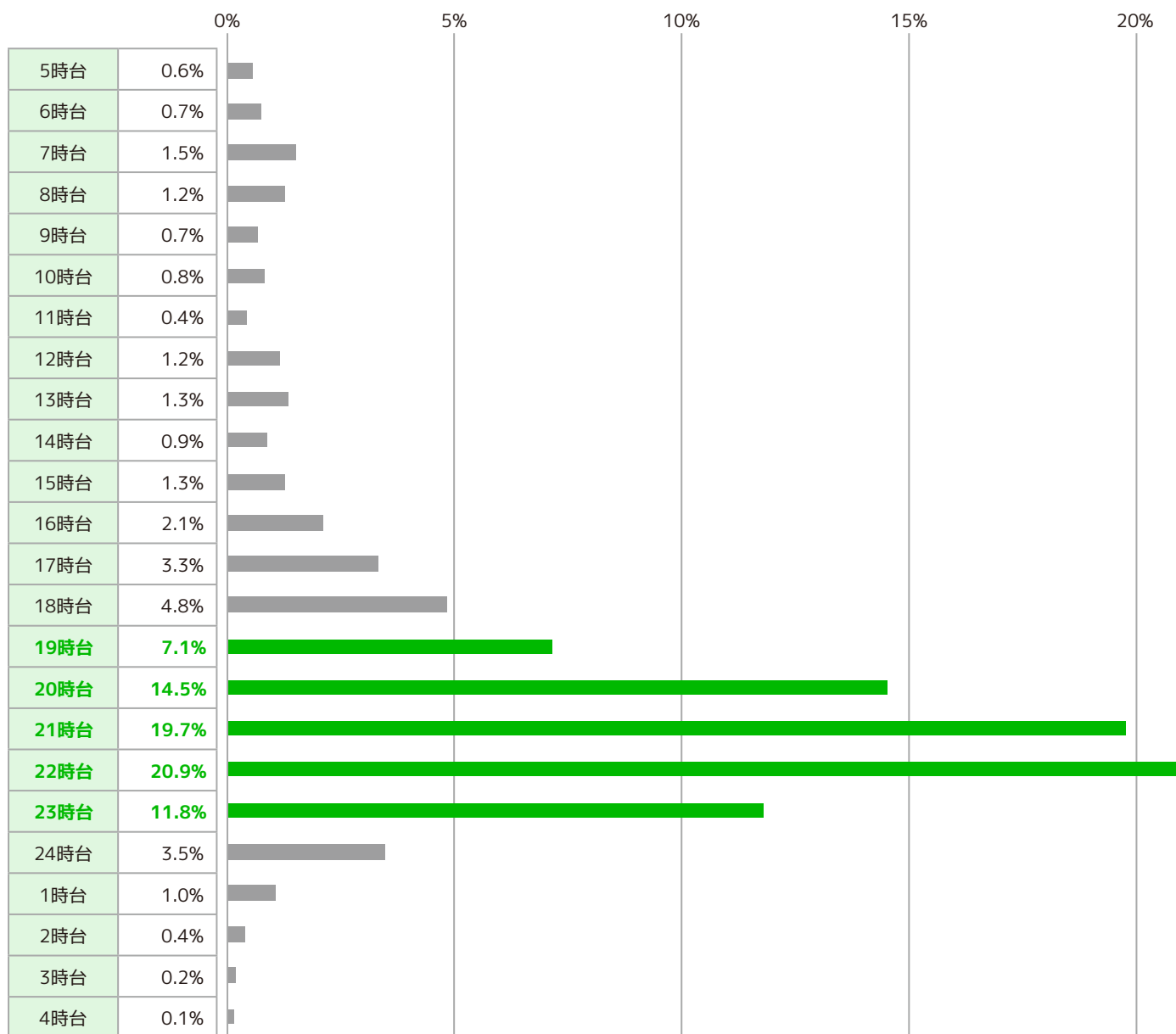
情報機器の利用時間帯

19時から23時の利用にピーク

生徒のスマホ等の利用時間は、19時から23時という時間帯がもっとも多くなっています。

設問

あなたがふだん、ひんぱんにスマートフォンや携帯電話、タブレット端末を使ってネットを利用している時間帯は何時ごろですか。該当する時間帯をひとつ選んで○をつけてください。（ひとつだけ○）



n= 56,148

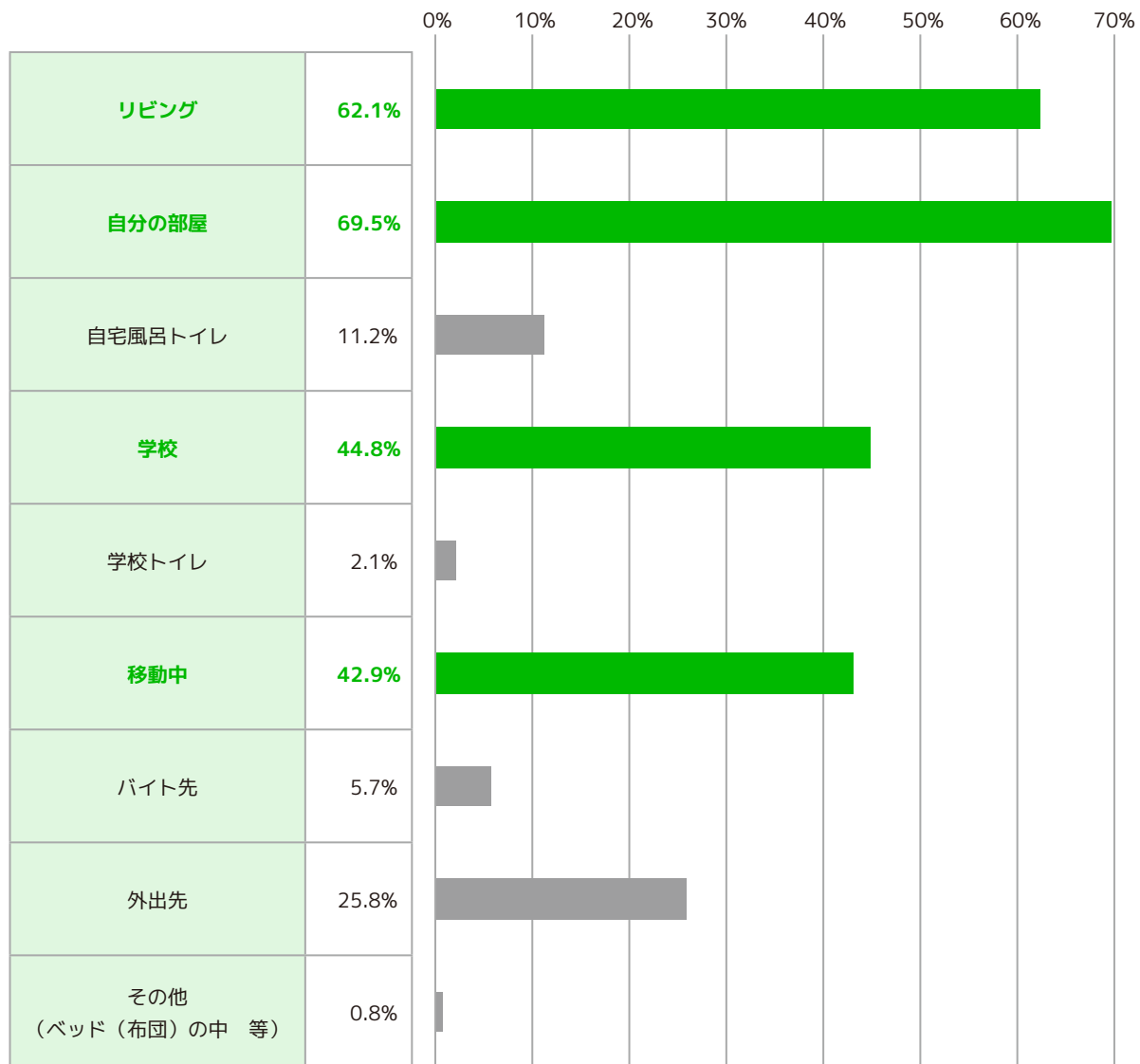
情報機器を利用する場所

リビング、自室、学校、移動中

生徒がスマホ等を利用する場所は、自室、リビングで家族と過ごす時間帯、学校、通学の途中の順番になっています。

設問

あなたがふだん、ひんぱんにスマートフォンや携帯電話、タブレット端末を使ってネットを利用している場所はどこですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。その他の場合には、（ ）内にその場所を記入してください。



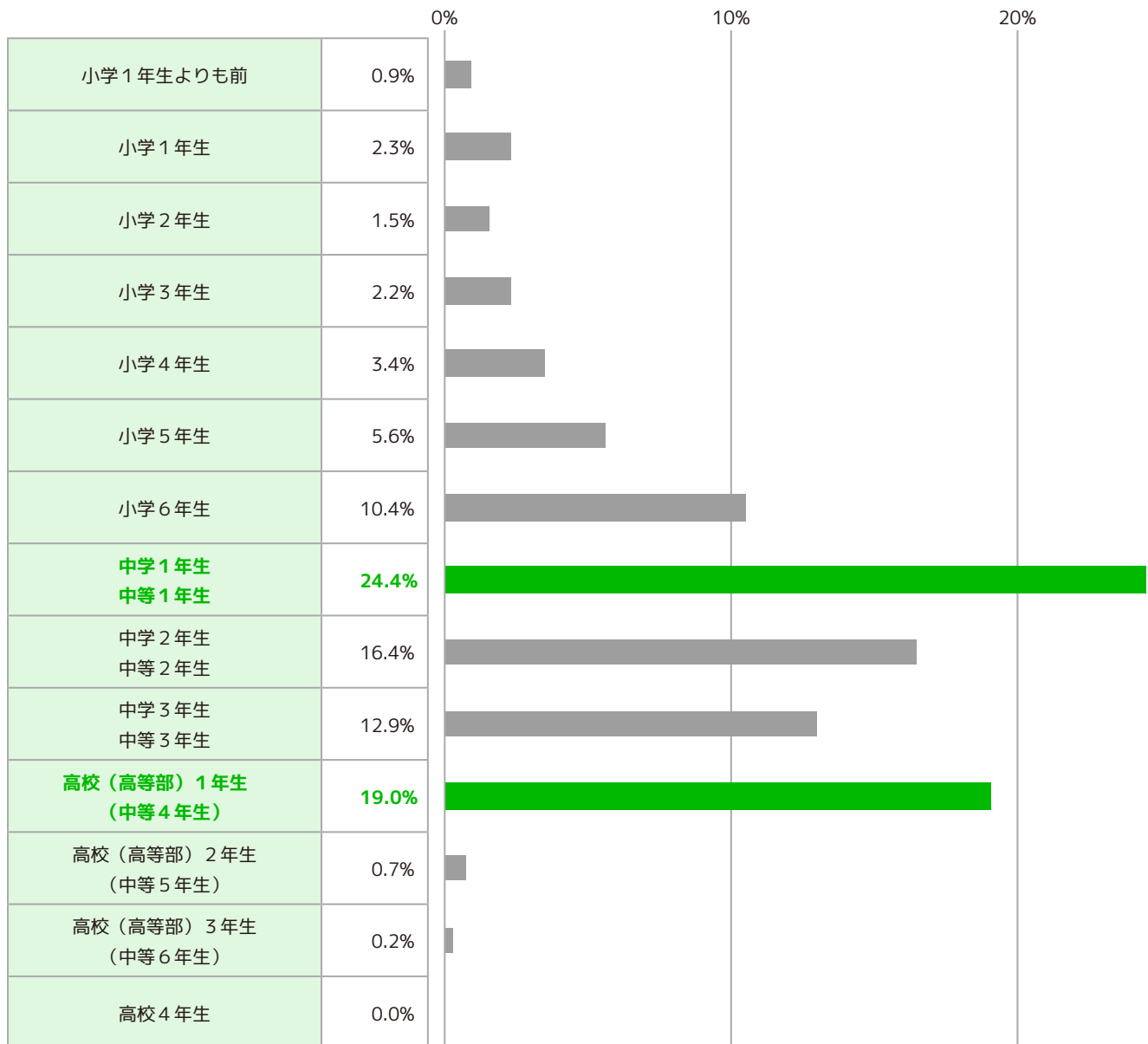
n = 53,375

情報機器の利用を始めた年齢 中学と高校の入学時に集中

生徒がスマホなどの利用を始めた年齢は、中学の入学時、高校の入学時が多くなっています。これは保護者が入学を契機に子どもに端末を与えるからだと考えられます。

設問

あなたが、スマートフォンや携帯電話、タブレット端末を使って、ネットを利用しはじめたのはいつごろからですか。ひとつだけ選んで○をつけてください。



n=59,664

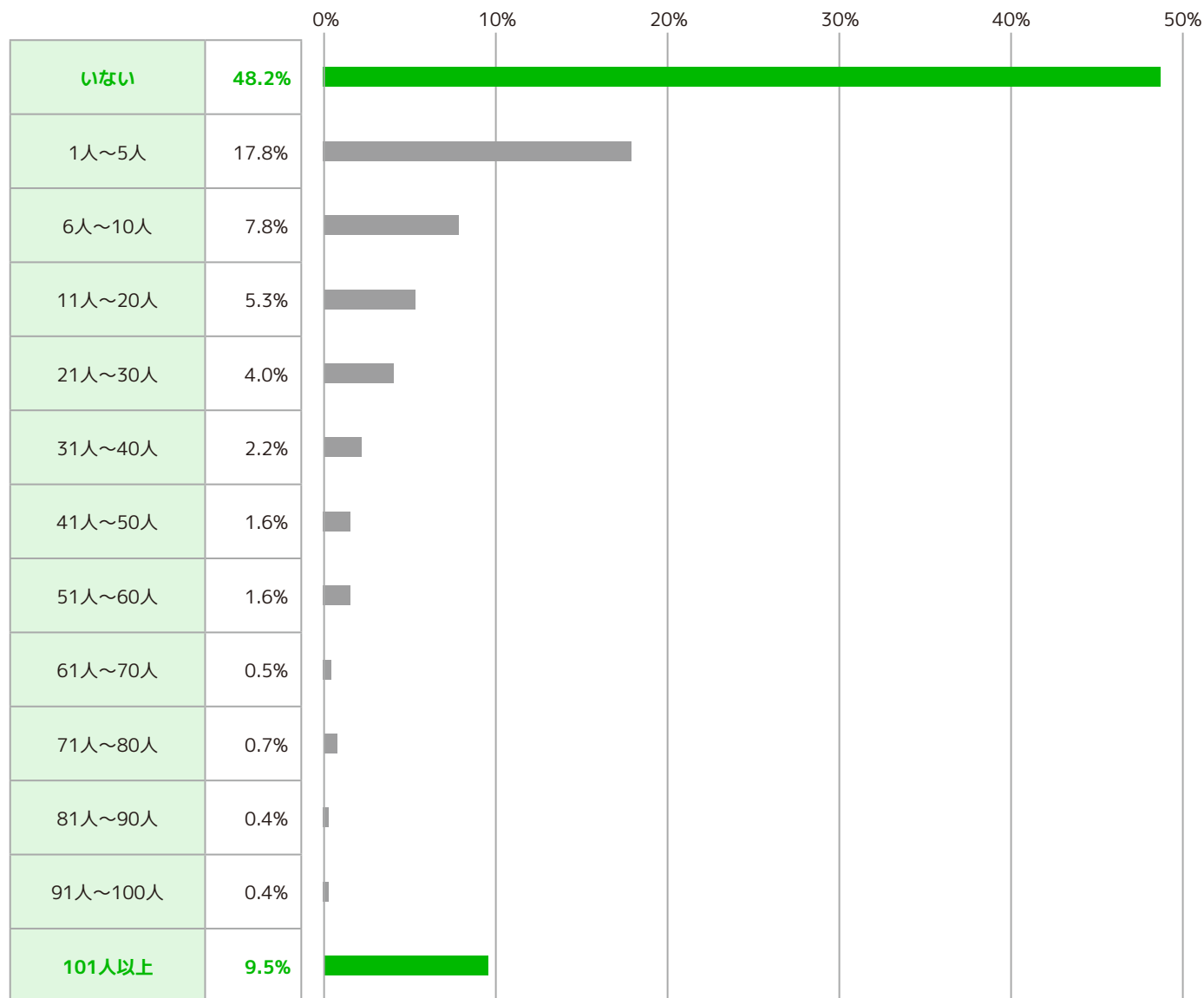
ネットで知り合った友人の数

大きな個人差

SNSなどをきっかけとして、ネットで作った友人の数には、生徒によって大きな差があります。48.2%の生徒が、ネットで新しい友人関係などは作っていないと回答していますが、他方で13.1%の生徒が、51人以上の友人関係を作っています。なかには100人以上との回答が9.5%ありました。

設問

あなたには、ネット（SNSやネットゲーム、掲示板など）がきっかけで知り合った友達が何人ぐらいいますか。



n=59,380

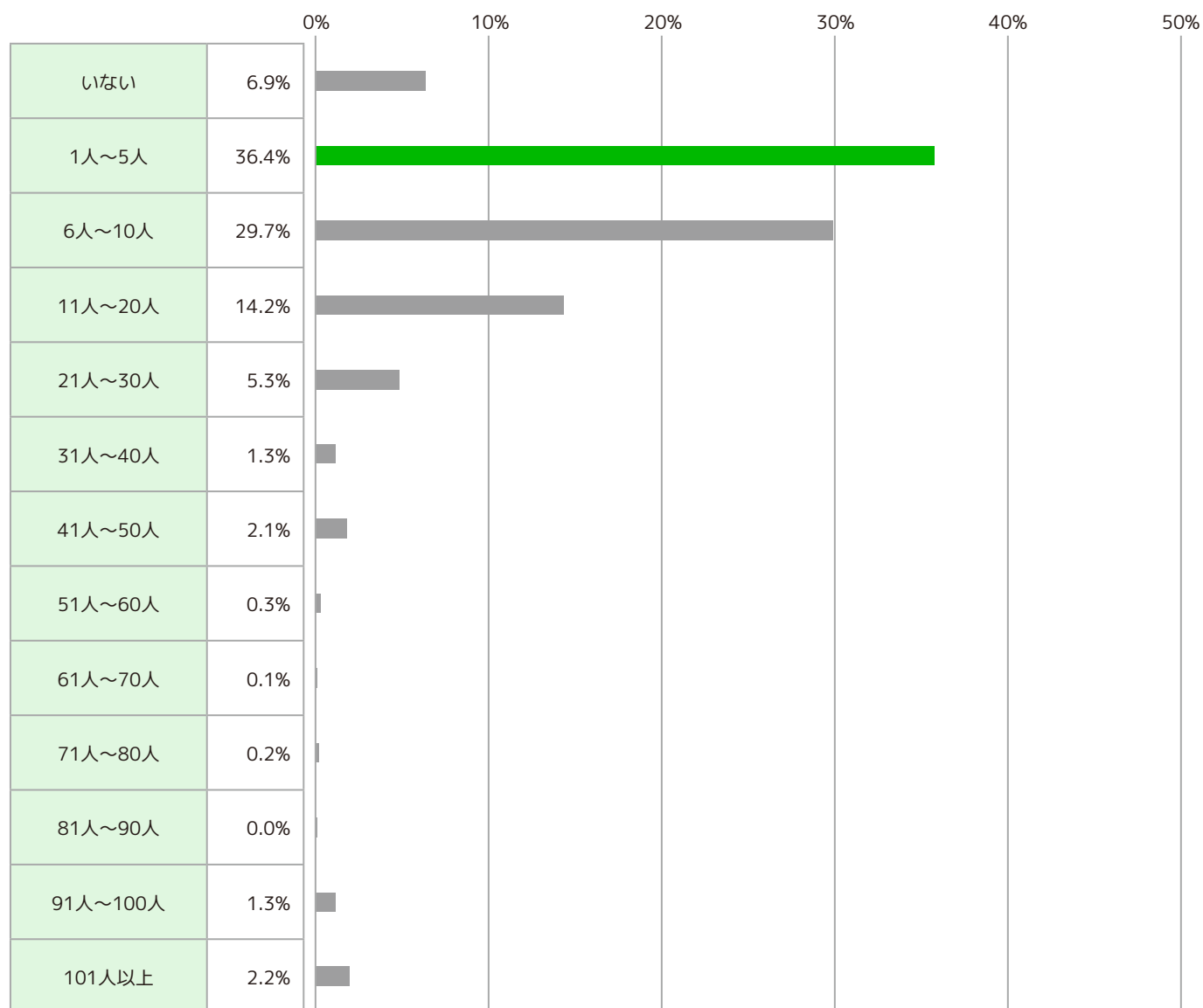
対照質問として一般的な友人数

1~5人

SNSなどをきっかけとして、新たに知り合いとなった友人の数と対照するために、一般的な友人の数を質問したところ、1~5人が36.4%、6~10人が29.7%になりました。

設問

あなたには、お互いに卒業後も付き合っていきたいと思っている親友があなたの今の学年に何人いますか。
(わからないときは、だいたいでかまいません)



n=55,817

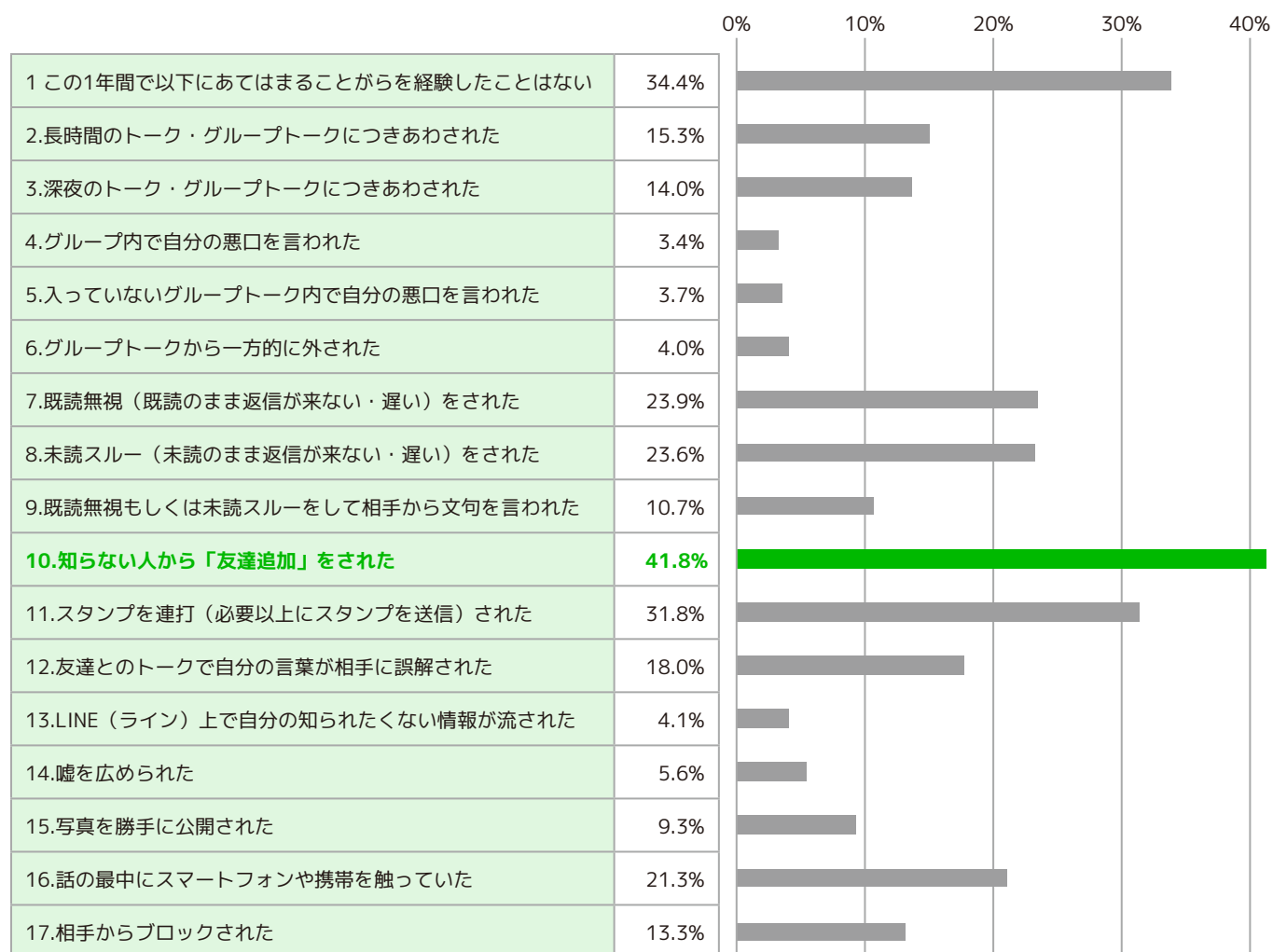
LINEで経験したいやなこと

知らない人から「友達追加」など

生徒がLINEを利用するさいに経験したいやなことについて質問したところ、「知らない人から友達追加をされた」（41.8%）「必要以上にスタンプを送信された」（31.8%）「既読無視（既読のまま返信が来ない・遅い）をされた」（10.7%）「相手からブロックされた」（13.3%）「写真を勝手に公開された」（9.3%）「グループトークから一方的に外された」（4.0%）など、LINEの利用に直接関係した問題のほかにも、「話の最中にスマートフォンや携帯を触っていた」（21.3%）「長時間のトーク・グループトークにつきあわされた」（15.3%）「深夜のトーク・グループトークにつきあわされた」（14.0%）「嘘を広められた」（5.6%）といった生活上のマナーに関わる問題がありました。

設問

この1年間でLINE（ライン）を利用しているときに（期間限定）、以下にあてはまることごとを経験したことがありますか。経験をしたことがあるものすべてに○をつけてください。



n= 60,482

ネットで実際に体験した嫌なことと、 ネットでもしされたら嫌だと感じるものの違い

LINEを例にとって、ネットで実際に体験した嫌なことと、もしされたら嫌だと感じるものの差を比較するために、次の二つの質問をしました。この二つの質問を比較したところ、実際に体験したことがある嫌なものの順位では、「知らない人から「友達追加」をされた」「既読無視（既読のまま返信が来ない・遅い）をされた」「話の最中にスマートフォンや携帯を触っていた」「未読スルー（未読のまま返信が来ない・遅い）をされた」の順位が高く、もし、されたとしたらいやだと感じるものの順位では、「嘘を広められた」「LINE（ライン）上で自分の知られたくない情報が流された」「入っていないグループトーク内で自分の悪口を言われた」「写真を勝手に公開された」の順位が高くなりました。ネットの利用上の問題については、実際に体験していることと、体験したことはないが嫌だと感じることを区別する必要があります。

設問

上の質問で、1以外に○をつけた人にだけお尋ねします。経験したことがらのうち、いやだと感じたことがらは何でしょうか。いやだと感じたことがらの順に（ ）内に、その番号をひとつずつ書いてください。

上の質問のことがらのなかで、もし、されたとしたらいやだと感じると思うことがらは何でしょうか。いやだと感じると思うことがらの順に（ ）内に、その番号をひとつずつ書いてください。



n= 60,482
 (各ことがらについて1位を3点 2位を2点、3位を1点として加算したスコアを、全ことがらについてのスコア合計値で割った百分率として表示)